

2026年2月19日

クラレトレーディング株式会社

## 2025年12月期決算概要

会社名 : クラレトレーディング株式会社  
代表者 : (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 武司  
問合せ先責任者 : (役職名) 人事・総務部長 (氏名) 尾古 雅章  
: (TEL) (06) 7635-1624

### 1. 当期の連結業績 (2025年1月1日～2025年12月31日) (百万円未満切捨て)

#### (1) 連結経営成績

	当 期 (2025年1月～2025年12月)		前 期 (2024年1月～2024年12月)		増 減	
	金額	取扱高利益率	金額	取扱高利益率	増減額	増減率
取 扱 高	159,951	-	161,006	-	▲1,054	▲0.7%
売 上 収 益	68,766	-	67,625	-	+1,141	+1.7%
営 業 利 益	6,034	3.8%	5,913	3.7%	+121	+2.0%
経 常 利 益	6,252	3.9%	6,023	3.7%	+229	+3.8%
当期純利益	4,338	2.7%	3,882	2.4%	+455	+11.7%

(注)・当社の連結子会社は、可樂麗貿易(上海)有限公司、クラレトレーディングベトナムの2社です。  
・連結財務諸表については監査法人の監査の対象外です。

#### (2) 単体経営成績

	当 期 (2025年1月～2025年12月)		前 期 (2024年1月～2024年12月)		増 減	
	金額	取扱高利益率	金額	取扱高利益率	増減額	増減率
取 扱 高	149,281	-	150,686	-	▲1,404	▲0.9%
売 上 収 益	41,654	-	41,258	-	+396	+1.0%
営 業 利 益	4,671	3.1%	4,608	3.1%	+63	+1.4%
経 常 利 益	5,269	3.5%	4,950	3.3%	+318	+6.4%
当期純利益	3,766	2.5%	3,237	2.1%	+528	+16.3%

※1: 当社は、2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用しています。

当該基準適用前(旧基準)での売上高に相当する金額を「取扱高」、当該基準適用後の売上高に相当する金額を「売上収益」として表示しています。

※2: 単体の経常利益には、連結子会社からの受取配当金(連結決算では消去)を含んでいます。

## 2. 当期の連結経営成績の概況

当連結会計年度（2025年1月1日～2025年12月31日）は、繊維関連は、資材関連が苦戦しましたがスポーツ衣料用途が好調に推移し、化学品・化成品関連においてはアジア市場を中心に販売が拡大しました。この結果、当社の経営成績は、取扱高は159,951百万円（前期比1,054百万円減、0.7%の減収）、売上収益は68,766百万円（同1,141百万円増、1.7%の増収）、営業利益は6,034百万円（同121百万円増、2.0%の増益）、経常利益は6,252百万円（同229百万円増、3.8%の増益）、当期純利益は4,338百万円（同455百万円増、11.7%の増益）となりました。

セグメント別の状況は以下の通りです。

以下〈 〉表記は、クラレグループの商標または登録商標です。

### （1）営業の概況

#### 【繊維関連】（取扱高は前期並み、売上収益増収、減益）

取扱高は43,190百万円（前期比5百万円増、±0.0%）、売上収益は32,326百万円（同65百万円増、0.2%の増収）、営業利益は2,443百万円（同62百万円減、2.5%の減益）となりました。

#### （衣料分野）

- 縫製品販売は、スポーツ衣料を中心に堅調に推移しました。
- スポーツ用途は、国内および中国でのスポーツアパレル・アウトドア向け販売が順調に拡大し、増収増益となりました。
- 学校体育用途については、受注減とコストアップの影響を受け減収減益となりました。
- 昨年上市しました新規繊維〈エプシロン〉や、リサイクル原料を使用した分割繊維〈ランプ〉環境対応グレードが、環境対応を重視する顧客の関心を高めました。

以上の結果、衣料分野は増収増益となりました。

#### （資材分野）

- メディカル用途の販売はほぼ前期並みでしたが、原料のコストアップ影響により減益となりました。その他資材関連は、土木・鉄道用途等が販売増となりましたが、中国向け原糸販売が苦戦しました。
- 人工皮革〈クラリーノ〉は、自動車用途が顧客の生産調整により減収減益となりました。

以上の結果、資材分野は取扱高・売上収益は横ばいながら減益となりました。

#### 【化学品・化成品関連】（取扱高減収、売上収益増収、増益）

取扱高は107,872百万円（前期比1,442百万円減、1.3%の減収）、売上収益は32,761百万円（同1,025百万円増、3.2%の増収）、営業利益は3,251百万円（前期比65百万円増、2.0%の増益）となりました。

- 付加価値加工製品である超低硬度のエラストマー成形材料〈クライン〉、汎用品の輸入販売が国内を中心に拡大しました。
- 〈クライン〉は、2025年6月、岡山工場内の新規設備が稼働を開始し、順調な立ち上がりとなりました。

**【その他（環境資材、機能製品、ベルト製品）】（増収増益）**

取扱高は 8,891 百万円（前期比 383 百万円増、4.5%の増収）、売上収益は 3,679 百万円（同 51 百万円増、1.4%の増収）、営業利益は 339 百万円（同 117 百万円増、53.0%の増益）となりました。

- 水処理用活性炭や工業用ベルト等の販売が拡大しました。

**（2）2026 年 12 月期の連結業績予想(2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日)**

中期経営計画「PASSION 2026」の最終年度である 2026 年度は、主要戦略である「アジアでの更なる業容拡大」「繊維を中心とする独自ビジネスの収益強化」を進め、収益の拡大に引き続き注力してまいります。

なお、2025 年 6 月に発表しました通り、クラレ西条株式会社におけるポリエステル樹脂およびポリエステル長繊維の生産は 2026 年 12 月末で終了しますが、当社ではポリエステル長繊維の OEM 調達により関連製品の販売を継続します（原糸販売の一部銘柄は販売終了）。

2026 年 12 月期の連結業績予想につきましては、以下の通りとなります。

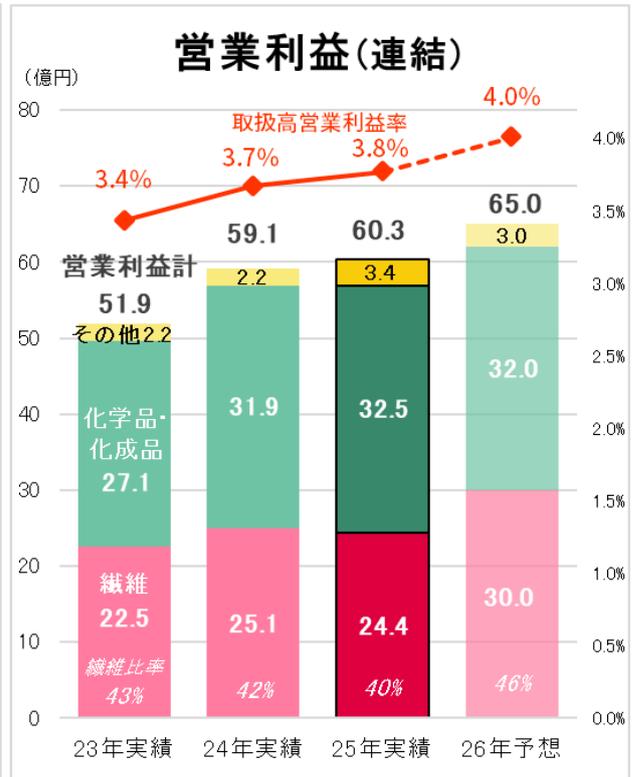
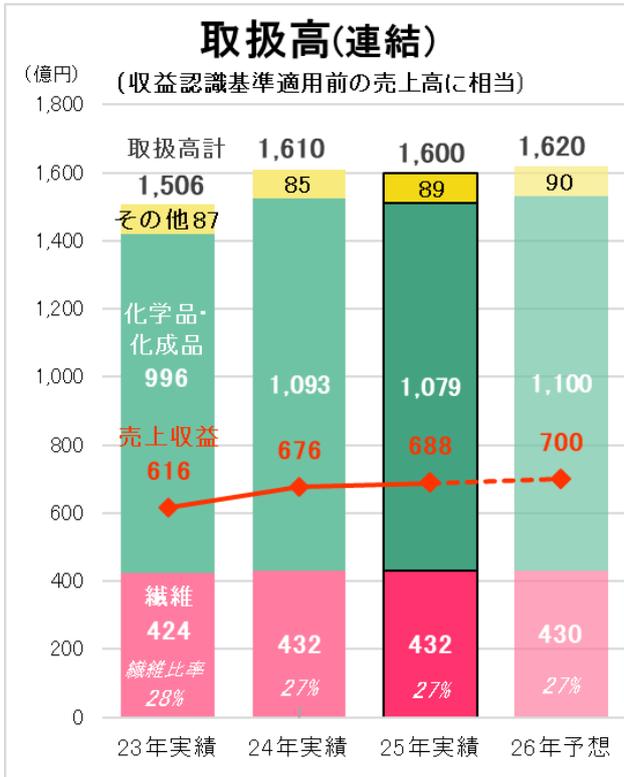
（億円）

	取扱高	売上収益	営業利益	経常利益	当期純利益
第 2 四半期 （累計）	770	340	30	30	21
通 期	1,620	700	65	65	45

<注記>上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

以 上

1. 取扱高・営業利益推移



2. 海外取扱高 (連結)

